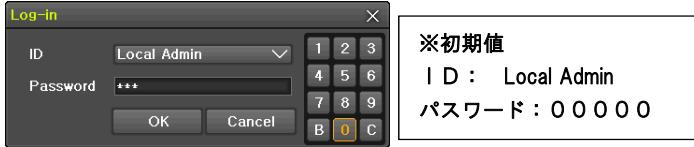


1. ログイン

録画装置のメニューを表示するには、リモコンのメニューボタンを押すか、マウスを右クリックします。



ログインを選択すると、ログイン画面が表示されます。パスワードを入力し、OK を選択します。



※初期値
ID: Local Admin
パスワード: 0000

ログイン後、「ログイン」タブは、「ログアウト」に変わります。



2. ライブ画面

画面下に、コントロールバーが表示されています。



① ② ③ ④ 年 月 日 時 分 秒 録画容量 再生

- ①単画面表示
- ②4分割画面
- ③電子ズーム
- ④シーケンス表示 (自動切替え)

4分割ボタンのオレンジ色は、現在、このモードで表示されていることを示しています。

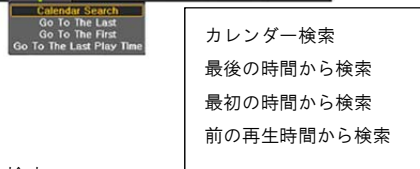
録画イベント	M	動き検知録画	録画モード	V	ビデオ録画
	S	センサー検知録画		A	オーディオ録画
	A	音声録画		T	テキスト録画
	T	テキスト録画			

■アイコン

	映像信号が入力されていません。もしくは、ライブ画像は非表示設定です。
	オーディオは、ONです。
	オーディオは、ミュートです。
No Signal 信号ロス	カメラが外されました。映像信号が切断しました。

3. 録画ファイルの再生

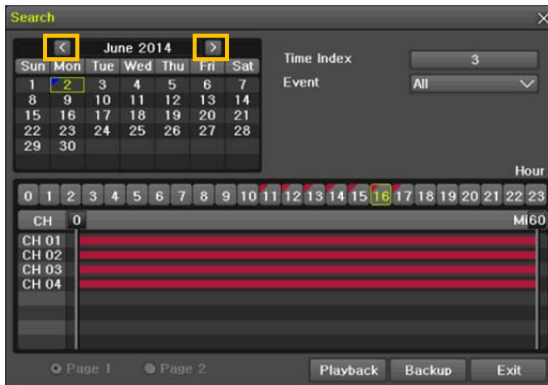
メニュー>検索 より、検索方法を選択します。



カレンダー検索
最後の時間から検索
最初の時間から検索
前の再生時間から検索

■カレンダー検索

カレンダーと時間軸が表示されます。検索する日付を選択します。月を変更する場合は、カレンダー上の表示月の左右の矢印ボタンで月を変更します。検索する日にちを選択します。



時間軸に移動し、検索する「時間帯 (0時~23時)」を選択します。次に「分 (0~59分)」軸で検索する「分」を指定し、「再生」を選択します。画面は、ライブ画像から再生画像に切り替わります。再生画面のコントロールバーは下図に変わります。



① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪

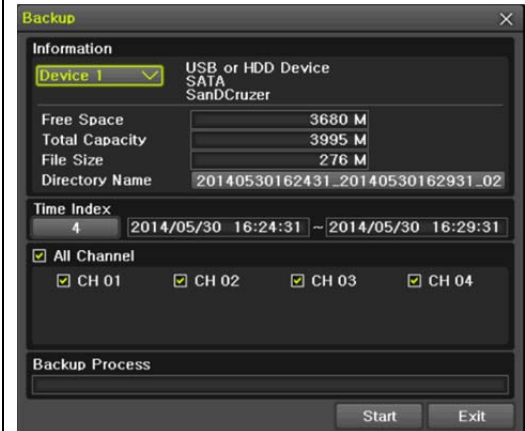
- ①単画面表示
- ②4分割画面
- ③電子ズーム
- ④スライドバー (1時間単位)
- ⑤再生倍率
- ⑥逆再生
- ⑦逆コマ送り
- ⑧一時停止
- ⑨コマ送り
- ⑩再生
- ⑪ライブ画面へ戻る (マウス操作)

オレンジ色は、現在、使用されているもしくは表示されている状態を示しています。

リモコンでは、同じマークのボタンで操作します。ESC ボタンで再生モードを終了します。

4. 録画ファイルのバックアップ

※操作の前に、USBメモリ等デバイスを録画装置に接続してください。※録画ファイルを検索して、バックアップを取る場合は、「3. 録画ファイルの再生」より、日時を指定後、「バックアップ」を選択します。バックアップ画面が表示されます。



1) デバイスの選択

USBポートに接続したデバイスを選択します。録画装置がデバイスを認識すると、空き容量/総量を表示します。

2) タイムインデックスの選択

過去に録画装置の時刻補正を行っている場合、時刻補正の度にタイムインデックスが作成されていますので、該当するインデックスを選択します。日時を指定します。変更する値を選択すると、▲▼ボタンが表示されますので、増減して値を変更します。

3) チャンネルの選択

初期値：全チャンネルが選択されています。ファイルをコピーするチャンネルの選択を残し、バックアップをとらないチャンネルを非選択にします。

4) バックアップ開始

「開始」を選択します。バックアッププロセスが進行します。

バックアップと同時に、ファイルの再生に必要な「Backup Player」もコピーされます。PCでファイルを再生する場合は、この再生ビューアでファイルを開きます。

録画装置は指定した時間でファイル容量を計算します。バックアップ用デバイスの空き容量が選択したファイル容量より少ない場合、バックアップを開始できません。時間を選択しなおしてください。

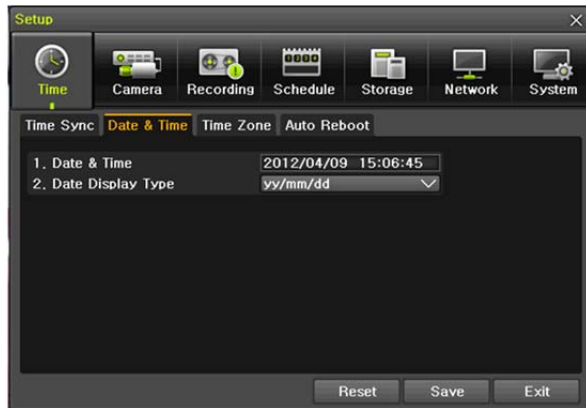
5. 基本的な設定

1) 時刻補正

メニュー画面の時間タブより、日時を選択します。

修正する値(年/月/日 時/分/秒)を選択します。

▲▼ボタンが表示されますので、値を増減し補正します。

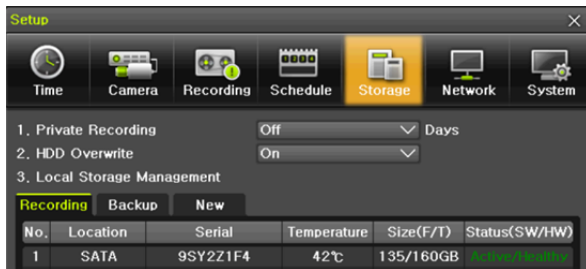


補正後、「保存」を選択します。

2) ハードディスクの状態確認・初期化

内蔵ハードディスクの不具合により、エラーメッセージが表示されることがあります。例:「HDD エラー」「HDD FAULT」

①ストレージで、HDDの状態を確認できます。



②STATUS(状態)が Warning の場合、サブメニューより以下の手順でハードディスク初期化操作を行います。

→当該 HDD をダブルクリックし「新規」を選択します。数秒で HDD は、新規タブに移動します。

→新規タブでその HDD を選択し、サブメニューから「録画用フォーマット」を選択します。初期化には数分かかる場合があります。

※初期化してもエラーが再現する場合は、ハードディスクの交換を推奨します。

! 初期化をすると、ハードディスク内のデータは消去されます。「FAULT」の場合は、販売店までご連絡ください。ハードディスクの交換が必要です。

3) ネットワークの設定

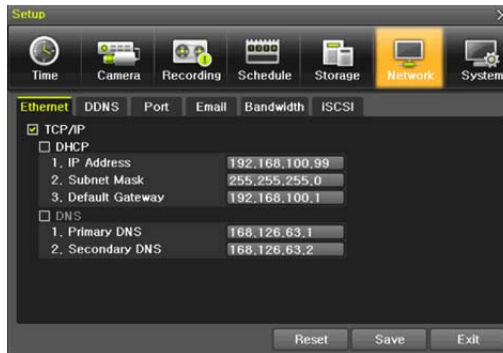
ローカルネットワークエリアで IP アドレスを割り当てて、録画装置にアクセスする場合は、ネットワークタブで設定します。

①TCP/IP を選択し、下記を設定します。

1. IP アドレス
2. サブネットマスク
3. デフォルトゲートウェイ

必要に応じて、下記も設定します。

1. プライマリ DNS
2. セカンダリ DNS



録画装置に割り当てるネットワーク設定内容は、設置される環境のネットワーク管理者に確認してください。

4) DVR 情報

録画装置の基本情報を下記より確認できます。

メニュー>DVR 情報



- ①DVR 名
- ②ソフトウェアバージョン
- ③ハードウェアバージョン
- ④ビデオモード
- ⑤HDD 情報(上書き設定: ON)
 - 総容量
 - 空き容量
 - 録画開始時間
 - 録画終了時間
- ⑥ネットワーク設定内容

6. バックアップしたファイルを PC で再生する

①バックアップしたファイルのある USB メモリ等を開きます。

画データと併せて、「Backup Player」が保存されています。

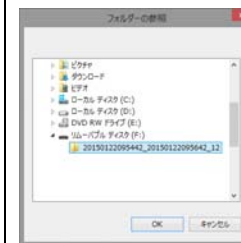
②Backup Player.exe を起動します。

※セキュリティの警告が表示された場合は、「実行」をクリックします。



③メニューのファイル>フォルダを開く を選択します。

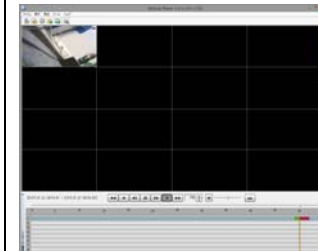
④録画ファイルの入っているフォルダを開きます。



フォルダ名は、下記のとおりです。
開始時間の年月日時分秒_終了時間時分秒

④録画画像ファイルが表示されます。

各ボタンを使用して閲覧します。



以上